

令和6年 第3回（9月）志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
1	丸 山 真 智 子	3 0 分	1. みんなで未来をつくるまち～手と手を取り合い住み続けたいしめ～（第6次志免町総合計画）	（1）基本目標1 “ひと” と “まち” がにぎわい魅力あふれるまち【ひとづくりと地域づくり】基本目標6 住民と行政がともに創るまち【行政】に関連して質問。	①人材発掘・活用について i 人材発掘・活用のために人材バンク（仮称）をつくり、自薦・他薦で登録者を募り活用したらどうか。現に、様々な活躍している志免町在住や出身の人がいると思う。 ii 部活動の外部指導者等の人材発掘・活用について教育長の見解を伺う。 ②男女共同参画の観点から、「志免町女性人材リスト」をつくり、「経験」、「知識」「やる気」を町政や地域のために活かしてもらったらどうか。 例 大牟田市、筑前町 ③施策17ー4 住民参画と協働を進める 「志免町みんなの参画条例」がH24. 4. 1に施行され、同じ年に町民と行政が対等の立場に立って協働のまちづくりをする目的で、「協働事業提案制度」や「住民活動団体育成支援」の事業が開始されたが期待どおりになっていない。 i 「協働事業提案制度」（団体提案型・行政提案型）や「住民活動団体育成支援事業」の目的と実績は。また、町長の認識は。 ii 「協働事業提案制度」は団体提案型と行政提案型では町負担割合及び交付限度額が違う。なぜ行政提案型の方が高いのか。もっと使いやすい制度への見直しが必要なのは。 iii 13年間続いた志免祭（シメサイ）が今年で最後となった。 2011. 9. 18 大正町芸術祭、志免大道芸フェスティバル、国際コメディ演劇フェスティバル、志免祭（シメサイ）と続き、観客数は年々増加。それに伴い、資金、人員また安全面の課題が出てきたのでは。 シメサイに限らず、まちを盛り上げる住民活動に対して会場の減免の他に支援することはできないのか。 iv 例えば、ふるさと納税（寄附金）のつかいみち(1)人と地域がにぎわい魅力あふれるまちづくりに関する事業から金銭的に支援する（警備も含めて）などできるのではないのか。 v また、クラウドファンディングで応援するなどできないことはないと思う。できない理由よりどうしたらできるのか考え、提案して欲しい。 ④「地域おこし協力隊」について、例えば、岩手県一関市では、5つの企画に隊員を募集し、まちの課題に取り組もうとしている。 特別交付税措置が隊員一人あたり520万円上限あるのに、なぜ活用しないのか。明確な答弁を。	町 長 教 育 長
			2. 廃食用油のリサイクルについて	（1）廃食用油はバイオディーゼル燃料（BDF）等、用途に合わせリサイクル原料として活用できる。是非、活用したい。	①現在、家庭用の使用済みや期限切れの食用油はどのように廃棄されているのか。 ②地球温暖化防止や資源のリサイクルのために、廃食用油を回収している自治体が増えている。限りある資源を有効に活用するために、回収拠点を設置し家庭から出る廃食用油をリサイクルすべきではないのか。	町 長

2	小 森 弘 美	3 0 分	1．共生社会の実現へ	(1) 認知症に寄り添う「ユマニチュード」の普及へ	ユマニチュードは認知症の人に「あなたを大切に思っている」ことを表現する技法であり、認知症の人と良好な関係を築き、介護者の負担軽減につながるとして「介護人材の確保策の一助にもなり得る」との研究結果がある。そこで、町における認知症の人と共に生きる優しい共生社会の取り組みについて町の見解を伺う。 ①認知症サポーター講座の中で、ユマニチュードのケア技術を取り入れてみてはいかがか。 ②認知症カフェで、ユマニチュードを取り入れてみてはいかがか。 ③今後、今以上に家族が家庭で認知症の人を介護することが増えていくと思われるが、一般家庭においてもユマニチュードの普及啓発をすべきだと考えるがいかがか。 ④福岡市は「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」の一環としてユマニチュードの市民講座を行い普及啓発に取り組んでいる。志免町でも講師を招き、講座を行ってみたいはいかがか。 i 小中学校児童生徒がユマニチュードを学ぶことで、認知症の人とスムーズに関わることができる考える。また、この技法は友達に対する接し方としても用いられ、相手を大切にするという観点からいじめをなくす解決策の一つになるのでは。 ヒアリングフレイルとは、聴覚機能の低下による身体の衰え(フレイル)のことを示す。 周囲が聴力の低下に気付かず、この状態を放置すると、その他のフレイルと同時に心身の活力の衰えが進み、認知症やうつ病となるリスクが高まることが懸念される。加齢による聞こえの低下ヒアリングフレイルについて広く町民に予防の周知啓発が大切と考えるが町の見解はいかがか。 ①福岡県のフレイル予防の取り組みとして、ヒアリングフレイルのチェックが紹介されているが、志免町ではヒアリングフレイルチェックは行っているか。 i ヒアリングフレイルチェックを行っている場合、どこで行っているか。 ②町民への周知や聴覚機器等の情報提供や積極的活用を促進し、健康長寿の志免町を目指すべきと考えるが町の見解はいかがか。	町 長 教 育 長
			2．ヒアリングフレイル予防で健康長寿を	(1) ヒアリングフレイル(耳の虚弱)チェックの取組について		町 長
3	岩 下 多 絵	2 0 分	1．カスタマーハラスメント(カスハラ)への対策について	(1) カスタマーハラスメントの現状と対策について	①数あるハラスメントの中でここ最近、民間企業や医療や介護の現場でも対策がなされているカスタマーハラスメント(カスハラ)について、まずはカスハラとは。 ②実際に、ひと月どれくらいの件数のカスハラがあるのか。 (明らかにクレームの度が過ぎるもの) i．役場に対して ii．学校現場に対して ③内容はどのようなものか。 i．役場に対して ii．学校現場に対して ④現在、カスハラが発生した場合にどのような対策を取っているのか。 i．役場 ii．学校現場 ①現在の対策で万全なのか。 例えば、共通したマニュアルの整備や、メンタルヘルスを守るための相談窓口の設置等は。 ②カスハラは、単に職員のメンタルヘルスを悪化させるだけでなく、職場全体の士気や、サービスの質の低下にもなり兼ねない。職員が安心して働ける環境を整えるためにも、例えば町として防止条例を制定するなど、町の考えは。	町 長 教 育 長
				(2) 職員が安心して働ける環境整備と、住民サービスの質の向上のために		

4	藤瀬 康司	30分	1. 志免町公式 LINE について 2. 自転車について	(1) さらに便利な公式 LINE に。 (1) シェアサイクルについて	2019 年 9 月に志免町に自治体公式 LINE を導入しては。と一般質問をして、2022 年に志免町公式 LINE が開始された。 ①志免町での LINE 活用状況について。 ②LINE 以外で情報発信しているアプリについて。 i. ゴミ分別アプリについて ・利用者数と年間経費は。 ・町民からのアプリに対しての声は。 ・公式 LINE でも同様の機能を追加できるがゴミ分別アプリが別であることの利便性は。 ii. 子育て応援ナビについて ・利用者数と年間経費は。 ・町民からのアプリに対しての声は。 ・公式 LINE でも同様の機能を追加できるが子育て応援ナビが別であることの利便性は。 iii. 別になっているアプリと 1 つに。公式 LINE に統合しては。 ③LINE で簡単に粗大ごみの手続きをできるようにしては。 ④LINE で窓口の待ち人数を確認できるようにしては。 ⑤LINE で町のイベント情報を確認できるようにしては。 ⑥民間企業とのコラボによる割引クーポン配信しては。 ⑦年代や性別などセグメント配信、分析機能を加えより便利な公式 LINE にしてはどうか。 ①「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例」が制定されているが、条例に基づいた志免町の取り組みは。 ②役場前にシェアサイクルが設置してあるが意図は。 ③町の施設・地区体育館や公園などにシェアサイクルのポートを設置し、志免町内を回遊性の高い交通を推進しては。 ④旧勝田線跡地に、シェアサイクルポートを設置して、シェアサイクル専用道路（歩行者用と分ける）にしては。 ⑤自転車を通じて、通勤・通学、買い物、観光、ビジネスと多様な用途の交通サービスを推進するためにも、「志免町自転車活用推進計画」を策定しては。	町 長
5	安河内 祐子	30分	1. 第6次志免町総合計画に添い、子育て支援についての取り組みを具体的に問う。	(1) 第 1 期志免町総合戦略を振り返り、成果指標に対して、達成状況となった原因をどのように認識しておられるのかと、現状を伺う。 (2) P 1 4 政策 2 未来の担い手と共に育つまち P 6 6 基本構想Ⅲ（基本目標 2）子どもの笑顔があふれるまちは、ほぼ同じことが書かれているが、多様なニーズに柔軟に対応できる、子育て・教育環境について問う。	*施策 1（P20・21） ①子育て世代のへの 3 つの安心アップの施策 1～3 は、とても厳しい達成状況であり、その中で公助・共助による子育て支援を実現する…に対する評価をどのように受け止められているのか？と今の現状は？ ・子育てに関する相談体制 ・居住地域の子育て環境 ・公民館での新たな交流事業 ①P 9 2 には、同じように、子どもの健全育成で目指す姿として、地域が子どもにとって安心して、自分らしく過ごせる居場所となるまちづくりを目指す…とあり、課題も明確に記されているが、その居場所づくりの具体的な状況を問う。 ②地域の子ども育成会や、部友会活動は今どのように行われていて、それは志免町内統一した活動か？ ③今年度のコミュニティスクールの状況を伺う ④ファミリー・サポート・センターしめの活動と、子ども会育成連絡協議会の活動報告について伺う。 ⑤子育て・教育環境整備に、公民館の新たな活用…という考え方について。 ・未来の担い手を、人生の先輩であり、まだまだ活力あふれる、各地域の高齢者の方々が育てていく“交流の場”として活用できないか。 ・不登校や放課後、夏休みや冬休み等々、“子どもや若者の居場所づくり”として活用できないか。	町 教 育 長

6	牛 房 良 嗣	3 0 分	1. 町の出生者減少 にストップを かけるために 2. 外国籍町民につ いて	(1) 出生者の大幅減少に対し ての対策について (1) 外国籍町民の増加に対し ての対策について	①町の 5 年先、10 年先の子どもの予想される人数は ②園児・幼児への影響は ①役場窓口の対応力について ②外国語対応力について ③日本語教育について ④就職の手伝いについて ⑤外国籍町民とのコミュニケーションについて	町 長
---	---------	-------	--	--	--	-----